

本公演は平成30年10月オープンの札幌市民交流プラザのイベントとして実施いたします。
 宮沢賢治は、花巻農学校の教員だった大正13(1924)年に、修学旅行の引率者として札幌を訪れ、「北海道帝国大学」や「中島公園」を視察するなど、札幌と縁の深い人物でありました。彼は「セロ弾きのゴーシュ」など音楽に関する作品も多く残したほか、私生活でもチェロを習ったり、クラシックのレコードを収集するなど、音楽に対する造詣の深さも知られております。
 公演では、賢治の詩の朗読、賢治の愛した楽器チェロとピアノによる小品の演奏、札幌西区オーケストラによる交響曲などの演奏を行います。



石川 祐支

1977年生まれ、名古屋市出身。8歳よりチェロをはじめ、東京音楽大学へ特待生として進学し、同大学を首席で卒業。その後は研究科へ進み、2001年に研究科を修了。現在は、ソロ、室内楽をはじめオーケストラの分野でも幅広い活躍を繰り返している。1998年第8回日本室内楽コンクールで第2位入賞、1999年には第68回日本音楽コンクールで堂々の第1位(第2位該当なし)を獲得、併せて黒柳賞も受賞する栄冠に輝いた。2002年5月第8回大垣音楽祭において最優秀新人賞を受賞。2003年4月から2005年1月まで東京交響楽団首席チェリストとして活躍。2005年4月より札幌交響楽団首席チェリストに就任。2010年には、北海道銀行より「道銀芸術文化奨励賞」を受賞。



大平 由美子

札幌生まれ。藤女子中学校卒業。東京芸術大学付属高校を経て、同大学器楽科(ピアノ)卒業。皇居内桃花楽堂での演奏会に出演。渡独、ベルリン芸術大学ピアノ科に入学し、同大学卒業。1989年より20年間、ベルリン芸術大学・舞台演奏科の講師を務める。2008年に帰国し、現在は札幌在住。ハイメス・アーティスト会員、北海道日独協会理事、ベルリナー・ベーレン代表。札幌アカデミー合唱団ピアニスト。近年は札幌在住・出身の演奏家と積極的に共演、大平まゆみ('06年)、石川祐支('12年) 両氏とのデュオ・リサイタル、平井有(ソプラノ:ミュンヘン在住)・福田善亮・大澤敬各氏とによる「アーベントシュテルン・コンサート」('08年)などで好評を博す。



札幌西区オーケストラ

指揮:鎌倉 亮太

1986年誕生。西区内の音楽愛好家の呼びかけで、日々の生活の一瞬でも音楽に費やそうとする仲間が集まり結成された。メンバーの演奏レベルや音楽経験を問わず、ただ純粋に趣味の音楽を追及するスタイルを続けているのが最大の特徴であり、また当団の誇るところといえる。活動は年に一度の定期演奏会と、ファミリーコンサートを開催している。



今後の演奏会予定

第31回定期演奏会

2017年4月29日(土・祝) 札幌コンサートホールKitara 大ホール
 メンデルスゾーン 序曲「フィンガルの洞窟」
 グリーク ピアノ協奏曲 イ短調
 ブラームス 交響曲 第2番 二長調

石井 雅子

1967年札幌生まれ、帯広育ち。TVリポーター歴27年。北海道を中心にテレビ、ラジオ、イベントの司会、講演会講師、テレビCMや企業VPへの出演など多数。現在uhb「みんなのテレビ」(月~金 午後3時50分から放送中)に出演中。2006年から取材を通じて奥尻観光大使。2016年にさっぽろスマートシティプロジェクト Let'sスマートアンバサダーに就任。



申し込み

12月26日(月)から1月24日(火)までに、右記のいずれかの方法でお申し込みください。

対象者/札幌市に在住か札幌市内にお勤めのかた
 多数抽選(定員400人)。
 当選者のみ、1月27日(金)頃に入場整理券を郵送します。

TEL 011-222-4894 (札幌市コールセンター/年中無休、8時~21時)

HP www.city.sapporo.jp/callcenter/uketsuke

